

株式会社COMPASS

ICT環境や先端技術を効果的に活用した教育の普及に向けた
補足資料

ICT環境や先端技術を効果的に活用した教育の普及に向けて

普及への課題

- ・ 学習指導要領の解釈（標準授業時数・学年越え）
- ・ インフラの整備
- ・ ソフトウェアへの予算措置

対策案

- ・ 自治体を対象に、ICT教育の普及に向けた取り組みを認知してもらうための活動を全国各地で行う
- ・ 文部科学省・経済産業省・自治体・インフラ/ソフトウェア事業者合同での開催
- ・ 文科省主導での各地域での開催、委員の皆様ゆかりの地域での開催ご協力をご依頼したい

事例) 自治体に向けた合同イベントの開催



長浜市（滋賀県）湖北都市圏創造構想推進事業
「Vision16 Go To the Future!! ~未来への扉をひらこう!!~」



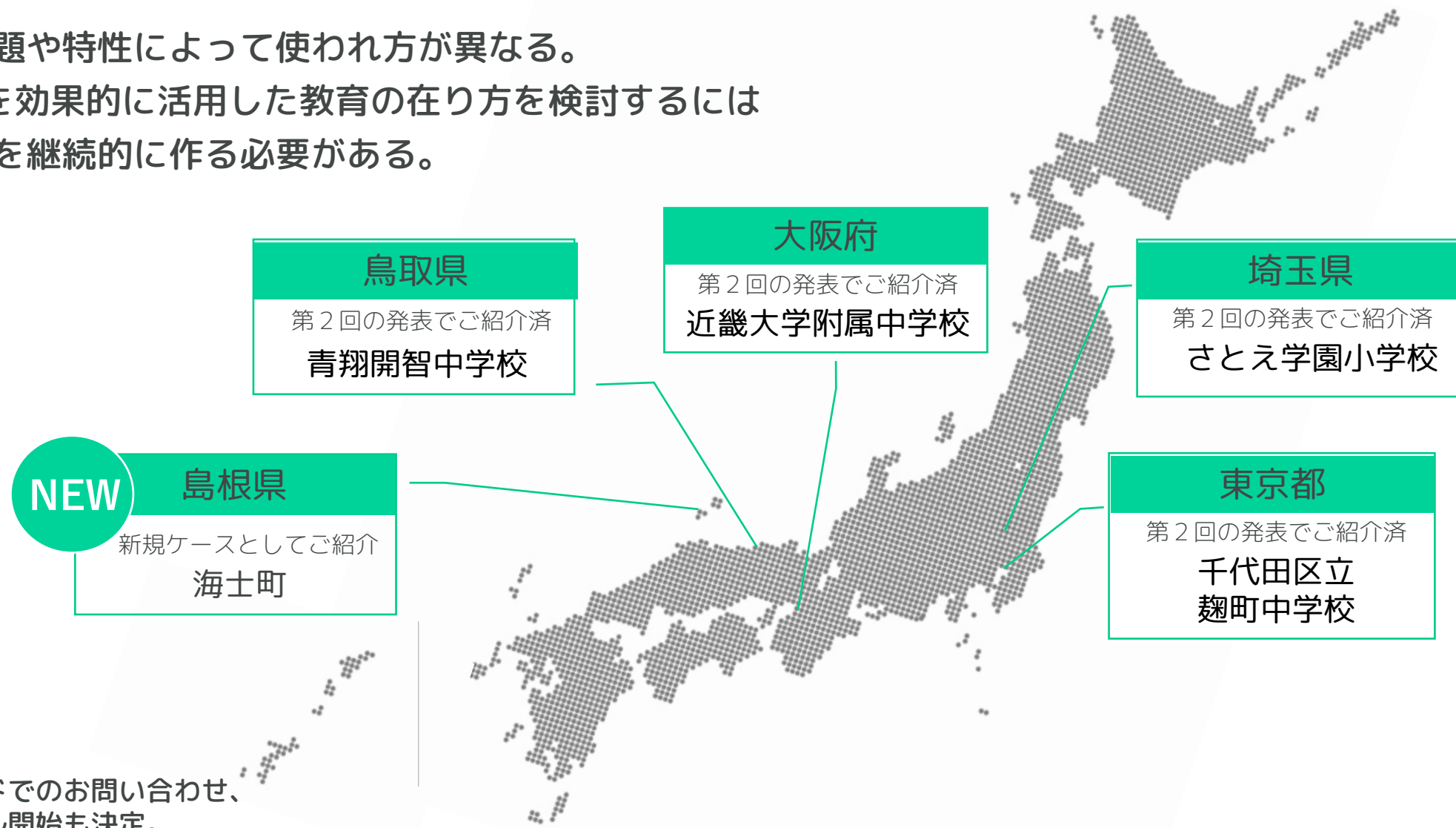
新座市（埼玉県）新座市夏季教職員全体研修会



カタリバ主催『未来の学校』オープンイノベーション事業構想会議

モデルユースケースの作成

地域や学校ごとの課題や特性によって使われ方が異なる。
ICT環境や先端技術を効果的に活用した教育の在り方を検討するには
モデルユースケースを継続的に作る必要がある。



上記を含む35校へ導入。
50自治体からインバウンドでのお問い合わせ、
10自治体の今期トライアル開始も決定。
今後ユースケースを順次ご紹介する。

NEW 導入事例 海士町（島根県）さま

- 複式学級での授業（4年生6人、3年生5人、担任1人の渡りスタイル）
 - ・ 試験的に4年生に導入、ドリル演習をQubenaでの演習に置き換え。（今後他学年でも実施予定）
 - ・ 今までドリル演習中は先生が対応できる範囲に限界があったが、個別最適化学習ができることにより、手が止まる生徒が減り演習量が増えた。
 - ・ 複式学級で進度の遅い生徒に手をかけがちだが、Qubenaによって進度のはやい生徒も自分のペースで学習ができるようになった。
 - ・ 授業後は演習のデータを見て生徒にフィードバック。

